

行動化能力（Competency）

行動化能力（Competency；コンピテンシー）とは、職務を効果的に遂行し、成果を収める上で発揮される特質である。

とIBM株では管理者に教え、それを求めている。そして、それには次の11項目が掲げられている。

いずれも飛躍しようとする企業人にとっては不可欠な特質であり、それを実践しようと努力する管理者達の苦労も並大抵ではないと推量する。しかも持って生まれた性格や能力に左右される項目もあり、さらにその労苦を思いやる気持ちが頭をもたげるが、「職務遂行」を掲げられるとそうも優しく考えることはできないだろう。

ここでその11項目を列挙するが、「艦船創成」という「職務」を遂行するに際し、この行動化能力（Competency）が具体的に何に相当し、この特質が高められれば何に効果があるかをそれぞれ独自に考えてみて貰いたい。なお、決して独りのみの能力に期待しているものではなく、チームという枠が大前提となっていることに気付けば、存外大変と言うほどのことでもなくなるので気楽に発想してみることを勧めたい。

行動化能力（Competency）

- ① 洞察力
- ② 創造思考力
- ③ 目的達成への推進力
- ④ チームリーダーシップ
- ⑤ 率直さ
- ⑥ チームワーク
- ⑦ 決断力
- ⑧ 組織構築力
- ⑨ 人材育成
- ⑩ 全体への貢献
- ⑪ ビジネスへの情熱

ちなみに以上をそのまま用語、あるいは意味するところを連ねて作文をすると以下のようになる。

新しい時代に要求される事業とはいかなるものかをしっかりと洞察・掌握し、今までにない画期的なものにしようと、あらゆる知見を活用して考え、その目的のために努力する。

その際、巨大なシステムであったり、先進的であったり、事業規模が大きいゆえに、多くの知恵と力を結集する必要があるだろうから、関係する人達を強烈に目標に向かってベクトルが一つになるようにリードしていかなければならない。

良いものは良い、必要なものは必要とはっきり表明することも大事であるが、素直に

耳を傾けることも一方で大事である。そのようにして極めて強固なチームワークを作って節目節目できちんと決断を下しつつ前進することこそ重要である。さすれば、その仕事が次第に組織化され、さらに推進力を増すことになるだろう。

一方で、チームの中には将来を担うことになるであろう優位な若者も含め、折に触れて体験、教育していくことがその事業の継続性を確保するうえで大事となる。

そのようにして得られる成果は、自ずと強大化して存在感が増し、全体計画への影響も大きくなり、貢献することに繋がる。

そして何より大事なことは、一人一人のその仕事に対する情熱なのである。

それらの情熱が集まって大きな炎となって燃えさかることこそが、行動化能力 (Competency) そのものの発揮なのである。

自分の置かれた位置や、与えられた職務を漫然と受け入れるだけでなく、その職務に自らのビジョンを注入して具現化を模索する際を想像して、以上の作文を更に具体的な形に書き改めることをすれば、「知識を知恵に変える方法」シリーズで論述した手法そのものを実行したことになるだろうから、是非試して貰いたい。そしてさらにおまけとして自らの行動理念が明白になることを期待したい。

以上